

マンモエクス管又クリニック

所在地 さいたま市北区日進町 3-430-1

☎ 048-669-1155

スタッフ 菅又徳孝院長。



菅又 徳孝
1956年生まれ。
群馬大学医学部
卒

特色 マンモエクスとは、マンモ=乳腺を意味するラテン語と、十分な説明= explanation、検査= examination、必要があれば切除する= excision を併せ持つエクスを組み合わせた造語である。院長は埼玉県立がんセンター乳腺外科で外科治療を行っていたが、早期発見の重要性を痛感し、01年10月乳腺疾患診断に特化したクリニックを開設した。遠方からの来院者や不安を抱える患者のために、マンモグラフィーや超音波などの画像診断の結果は検査当日説明する。乳癌と診断された場合は、乳房温存術を積極的に行い、センチネルリンパ節生検など低侵襲手術に取り組む医療機関に紹介している。

症例数・治療・成績 本来は年間の症例数を公表すべきであるが、当院は開設後期間が短く受診者数は増加の傾向にあり、より受診者の傾向を分かりやすくするため、開設後約2年半の総数を示す。乳腺外来の受診者数は約4,000人で、マンモグラフィーはほぼ全例、超音波検査1,860例、針生検98例を行った。うち乳癌と診断された患者は70例で、紹介先医療機関での術式は乳房温存術が48例、乳房切除術8例、部分切除その他3例、非手術(化学療法を含む)7例、未定4例である。紹介先は患者の通院の利便性を考え、埼玉県立がんセンターが55例、県内総合病院(大学病院含む)5例、県外総合病院3例、都内総合病院4例、未定その他3例である。また通常の診療以外に、県内乳癌検診施設のマンモグラフィーを年間約20,000件読影している。さらに日本乳癌検診学会や各自治体医師会の主催するマンモグラフィー読影講習会の講師として、読影医の養成にあたっている。

医療設備 マンモグラフィー、超音波、針生検、ヘリカルCT(車載式)。

外来診療 乳腺外来は予約制で、火・金が午前9時～12時、午後2時～6時。土は午後2時～6時のみ。院長が診察する。

カルテ開示
○

セカンド・オピニオン
受入れ
△
データ貸出
△

G
薬
×